

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟 役員選任「立候補意思表明書」

2021年 4月15日 氏名 芦川 雄一郎

<b>【JHF 活動履歴】</b>
1985年5月怪鳥倶楽部 ハンググライディングスクール入校
1990年2月ハングパイロット証取得
1991年4月 NHK 教育 趣味百科ハンググライディング入門 実技担当で出演
1993年3月ハング助教員 取得
1995年4月 NHK 教育 二十歳の趣味口座 気分は鳥人 実技担当で出演
1998年1月ハング教員 取得 朝霧高原猪之頭エリア代表拝命
2008年10月 日本航空協会主催 スカイキッズプログラム 航空スポーツ教室参加
2011年6月 ハングパラ振興委員長拝命
2013年6月 理事拝命

<b>【JHF 定款への理解】</b> （どれかひとつを選択してください） <input checked="" type="checkbox"/> 熟知している <input type="checkbox"/> ある程度理解している <input type="checkbox"/> 一通り目を通した <input type="checkbox"/> これから目を通す
---

<b>【立候補意思表明】</b> 公益社団法人 JHF の活動に関するご自身の考え。 その際に下記2点を含めて下さい。 (1) 今後の JHF が活動していくべきと考える事 (2) ご自分が理事として実践していきたい事
(1) 昨今のフライヤー人口減少が底打った感から、コロナ禍による外出自粛でイベント自粛、フライト自粛と活動低迷と更に厳しさを増している状況です。 しかしネット配信動画、ドラマ等の新しいメディアでパラグライディングが活用され、タンデム講習生増加の傾向が見られ、上級タンデム技能証及び教員更新講習会実施による安心安全な講習でフライヤー増加、生涯スポーツとしての成熟が必要と考えています。 その為にも事故の低減、インシデントの情報収集と解析による課題の抽出と対策の立案実施が必要です。
(2) 厳しい状況の中会費の値上げに踏み切り会員皆様への負担増となりますが、より一層の経費削減と事務局の作業効率化、会員管理システムの刷新等の事業の集中と選択。 若年層への体験含めた、アプローチの増加による、フライヤー人口増加策に加えて、フライヤー高齢化による予防的安全対策の実施。

※この立候補意思表明書は JHF ホームページに掲載し一般にも公開されます。

時数制限はありません、また必要に応じて用紙を増やして下さい。

この用紙をワードファイル（. doc）での提出、または上記項目を漏れなく網羅してテキストファイル(. txt)で提出することも可とします。詳しくは「立候補意思表明書の提出について」をお読みください。